

2025 年度
聖徳学園中学校 適性検査（2 科型）
適性検査Ⅰ・Ⅱ 解答例と解説

この解答例と解説はあくまでも採点の一例を示したものです。

本校にお問い合わせいただきましても、個別の採点内容等につきましては、
お答えできません。あらかじめご了承ください。

適性検査Ⅰ〈2科型〉解答例／解説

文章1

出典は、にしがきようこ『ピアチエーレ 風の歌声』による。中学生の嘉穂が、友人であるひとみにさそわれて訪問した音楽教室で、歌を歌い、その才能を見いだされる様子をえがいた文章である。嘉穂の歌声や気持ち、たとえばや擬態語ぎたいごを用いて表現されている。後藤先生の指揮のもとで歌ったときや、歌い終わったあとの嘉穂の感覚と気持ちをつかみ、嘉穂のひとみに対する反応の理由を理解していきたい。

文章2

出典は、風野潮『レントゲン』による。高校生の「僕」が、新入部員勧誘のためのオーケストラ部の演奏で、バイオリンを弾く様子をえがいた文章である。演奏する中での「僕」の気持ちの変化が、いねいに表現されている。指の怪我のせいで、思うようにバイオリンを弾けない「僕」の気持ちが、葵の踊りをきっかけにどのように変化したのかを理解していきたい。

〔問題1〕

解答例

声が壁にはね返されて聞こえた、外で歌っていたときとは違う自分の声について考え、歌うことの気持ちよさにひたっていたから。

(五十九字)

【解説】

「生返事」は、気の抜けたいいかげんな返事のこと。嘉穂が「生返事を繰り返した」のは、他のことに気を取られていたからである。したがって、嘉穂が気を取られていたことが何かをおさえる。嘉穂は、音楽教室で後藤先生の指揮に従って歌ったことを思い出している。グラウンドで歌ったときには、「自分の声が風に乗って、ひろがって」いったが、音楽教室では「声は壁にはね返されて自分の耳にもどってきた」ため、自分がどのような声を出しているのか、嘉穂自身にもわかった。嘉穂はそのときの感覚を思い返して、「あれが嘉穂の声なのだ」と自分自身の声を意識し、「両腕をのばし、気持ちいい」と叫びだしたいほど」だと感じている。つまり、ひとみに対して「生返事を繰り返した」のは、音楽教室で初めて自覚した自分の声について考え、歌ったときの「気持ちいい」という感覚にひたっていたからである。

〔問題2〕

解答例

（今までは）プレッシャーを感じて思いどおりに弾けなくなるこ
とがあったが、久しぶりにバイオリンを弾くことを「楽しい」と思え
る（ようになって）。

（五十五字）

【解説】

まず、「以前のコンサートやコンクールでの『僕』の様子と比かく
しながら」とあるので、「以前のコンサートやコンクール」について
ふれられている部分をとらえる。「僕」は、「今まで、コンクールでも
コンサートでも、誰かに自分を見られている、自分の音を聴かれて
いる」ということを意識してしまい、「プレッシャーを感じ、思いど
おりに弾けなくなることが多かった」と語っている。次に、葵の踊り
に注目したあとの「僕」の状況や、気持ちの変化をとらえる。「僕」
は指に怪我をしていて、「上手く指が動かない」という状況だったが、
葵の踊りに意識を向けるうちに、指の痛みや指を上手く動かせない
という焦りを忘れて、「飛び跳ねる葵を支える音になりたい」という
思いでバイオリンを弾くようになっていた。その結果、「僕」は、プ
レッシャーに負けることなく、「久しぶりにバイオリンを弾くことを
『楽しい』と感じながら」演奏することができたのである。

〔問題3〕

解答例

解答省略

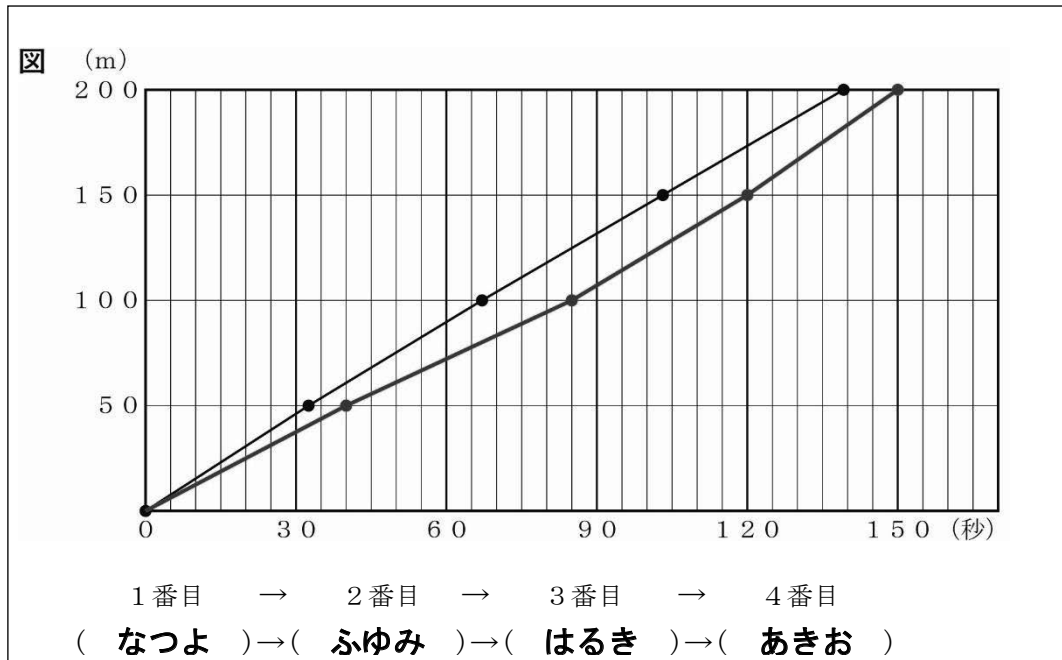
【解説】

「**文章1**、**文章2**」の内容をふまえて「具体例を挙げて」説明する
という条件をおさえて書く。作文では、示された条件から外れると、
減点されてしまうので、注意が必要である。まず、**文章1**と**文章2**
をふり返り、主人公である嘉穂や「僕」が、どのような状況で自分の
実力を発揮することができたのかをおさえて整理する。嘉穂は後藤
先生の指揮に集中して、頭を「真空」にして声を出すことで、歌の実
力を発揮している。「僕」は葵の踊りに意識を向け、葵の踊りに調和
した音を出したいと考えることで、バイオリン演奏の実力を発揮し
ている。それらの内容をまとめたうえで、「自分の実力を思う存分発
揮するため」の方法を、具体例とともに説明する。自分が実際に体験
したことや、見聞きしたことなどを具体例として挙げるとよい。

適性検査Ⅱ

1

〔問題 1〕



【解 説】

4 番目のクロールをいちばん速い記録のあきおさんが泳ぐとすると、3 番目のバタフライを泳ぐのははるきさんに決まります。したがって、2 番目の平泳ぎはふゆみさん、1 番目の背泳ぎはなつよさんが泳ぐことになります。グラフは、(0 秒、0 m)、(40 秒、50 m)、(85 秒、100 m)、(120 秒、150 m)、(150 秒、200 m) の各点を順に直線で結んでいきます。

〔問題 2〕

赤色のコースフロートをCの位置で使うことが〔 できる ・ できない 〕

〔説明〕

必要なコースフロートの個数は、

Aの位置では、 $500 \times 2 \div 25 = 40$ (個)

Bの位置では、 $2 \times 3 = 6$ (個)

Cの位置では、 $1000 \times 4 \div 25 - 6 = 154$ (個)

なので、赤色のコースフロートは100個より、

Cの位置に使用することはできない。

【解 説】

4か所のCの位置に必要なコースフロートの個数を考えます。

$10\text{m} = 1000\text{cm}$ ですから、 $1000 \times 4 \div 25 = 160$ より、Cの位置で必要なコースフロートは、Bの位置の6個を除いて、 $160 - 6 = 154$ (個)です。倉庫にある赤色のコースフロートは100個ですから、赤色のコースフロートをCの位置で使うことはできません。

〔問題 3〕

〔2をつけた練習目的〕

強い持久力 ・ 強い推進力 ・ 正しい泳法 ・ 正しい呼吸法

〔はるきさんの評価表〕

表

はるきさんの評価表

練習目的	重要度	P		Q		R		S	
		評価	点数	評価	点数	評価	点数	評価	点数
強い持久力	1	4	4	3	3	1	1	5	5
強い推進力	2	4	8	4	8	5	10	3	6
正しい泳法	4	2	8	5	20	5	20	4	16
正しい呼吸法	4	5	20	4	16	4	16	2	8
合計点数			40		47		47		35

【解 説】

「強い持久力」の重要度が1で、残りの練習目的の重要度がすべて4であるときを考えると次のようになります。

練習目的	重要度	P		Q		R		S	
		評価	点数	評価	点数	評価	点数	評価	点数
強い持久力	1	4	4	3	3	1	1	5	5
強い推進力	4	4	16	4	16	5	20	3	12
正しい泳法	4	2	8	5	20	5	20	4	16
正しい呼吸法	4	5	20	4	16	4	16	2	8
合計点数			48		55		57		41

「強い推進力」、「正しい泳法」、「正しい呼吸法」のどれか1つだけ、重要度が2になるときに、2つの練習プランの合計点数が47点になる場合を探します。練習プランSは、すでに41点で点数を増やすことはできないので、47点になりません。練習プランPは48点で、1点だけ合計点数を減らす方法がないので、47点の練習プランはQとRです。合計点数を、練習プランQは8点、Rは10点減らす必要があり、「強い推進力」の重要度を4から2に減らしたときに条件を満たします。「正しい泳法」、「正しい呼吸法」の重要度を変えても条件を満たしません。したがって、重要度が2の練習目的は「強い推進力」です。

2

〔問題 1〕

(選んだ一つを○で囲みなさい。)	
泉佐野市	弘前市
(例)・泉佐野市 泉佐野市で仕事をしていない 20～29 歳の人数が増加しているという課題に対して、これらの人たちに農業などの技術を身につけるための職業訓練などを行うことで、職に就く機会を与えることができる。	
・弘前市 弘前市の農業従事者のうち若者の割合が低いという課題に対して、泉佐野市から人がくることで、若い年代の農業従事者が増加し、農業の後継者不足を解消することができる。	

【解 説】

泉佐野市としては、農業を始めたい人や若い世代で仕事をしていない人に対して、職に就くことを前提にして農業技術などの職業訓練を行うことができます。また、人口が少しずつ減少している弘前市としては、そのような人たちに農業に関わってもらうことで労働力不足を解決することができます。図 2、図 3 からこのプロジェクトに参加する人の年齢について考え、答えをまとめましょう。

〔問題 2〕

〔「農業女子プロジェクト」が農業にもたらす役割〕
（例）女性の農業従事者の数の減少や高齢化に対して、若い年代の女性の農業従事者の数を増やすことで、農業従事者数を維持することができる。
〔「農業女子プロジェクト」の取り組みが女性の農業従事者に対して与えた効果〕
（例）女性の農業従事者の声を商品に反映し、女性でもあつかいやすい農具などを開発していくことにより、女性の農業従事者が働きやすい環境が生まれ、女性が農業に従事しやすくなった。

【解 説】

「農業女子プロジェクト」のメンバーの年齢構成を見ると、女性の農業従事者の中で割合が低い 40 代までのメンバーが多いことから、このプロジェクトがもっと広まることで、若い年代の農業従事者を増やすこと、農業従事者数を維持することが期待されます。また、自分たちの声が反映されやすい状況であることは、自分たちの力で今よりも働きやすい環境をつくり出すことにもつながります。

3

〔問題 1〕

(例) ペットボトル内の酸素は、すべてペットボトルに入れたカイロの粉の中
の鉄粉と結びつき、24時間置いた後のペットボトルの中には酸素と結びついて
いない鉄粉が残っている。

【解 説】

鉄粉には磁石に引きつけられる性質があります。24時間置いた後のペットボトルの中身が磁石に引きつけられたことから、ペットボトルの中には鉄粉が残っていると考えられます。この実験ではペットボトルのふたを閉めたままであったため、新しい空気が入ってきませんでした。そのため、ペットボトル内の酸素がすべて鉄粉などと結びついて使われると、残りの鉄粉は酸素と結びつくことができず、そのまま残ります。

〔問題 2〕

〔式と文章〕
(例) 空気中の酸素の体積の割合を求める式は、空気中の酸素の体積÷空気の
体積×100(%)で表される。実験で、ペットボトル内の空気中の酸素の体
積は、ペットボトルがへこんだ分の体積と等しく、これはあふれた水の体積と
も等しい。また、ペットボトル内の空気の体積は、ペットボトルの内側の体積
から、カイロから取り出してペットボトルに入れた粉の体積を引いたものと等
しい。よって、空気中の酸素の体積の割合を、実験の結果の表にある値を利用
して求めるには、あふれた水の体積÷(ペットボトルの内側の体積－カイロか
ら取り出してペットボトルに入れた粉の体積)×100=85÷
(520－90)×100の計算をすればよい。
空気中の酸素の体積の割合： 19.8 %

【解 説】

実験のペットボトル内に注目します。ペットボトル内の空気中の酸素の体積は、カイロが使った酸素の体積と等しく、カイロが使った酸素の体積の分だけペットボトルがへこんだと考えられます。また、ペットボトルがへこんだ分の体積は、形がへこむ前のペットボトル全体の体積と24時間置いた後の形がへこんだペットボトル全体の体積の差であり、これはあふれた水の体積と等しく、85.0 cm³となります。さらに、ペットボトル内の空気の体積は、ペットボトル内の空間の体積と等しいと考えると、ペットボトルの内側の体積からカイロから取り出してペットボトルに入れた粉の体積を引いたものと等しくなります。よって、空気中の酸素の体積の割合は、あふれた水の体積÷(ペットボトルの内側の体積－カイロから取り出してペットボトルに入れた粉の体積)×100=85.0÷(520－90)×100=19.76…より、19.8%とわかります。